


CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

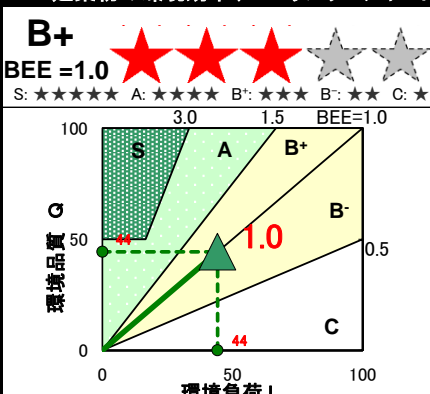
大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ城東区成育二丁目 新築工事		
建設地	城東区成育二丁目		
建築用途	集合住宅		
建築主			
設計者	(株)ティーエムエッチ		
敷地面積	967.90 m ²		
建築面積	285.39 m ²		
延床面積	3,329.61 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上15階、地下0階		
完了年(予定)	2022年6月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

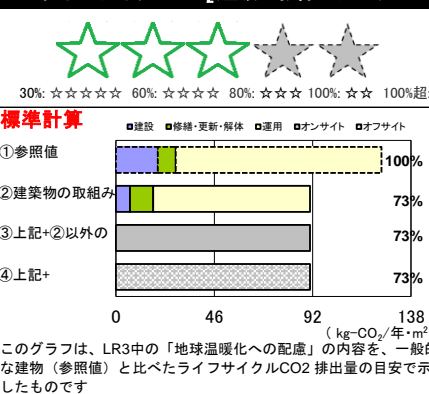
B+
BEE=1.0



環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

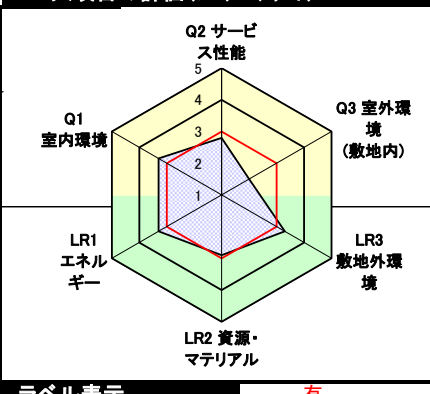
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

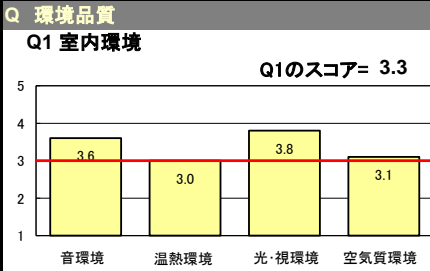
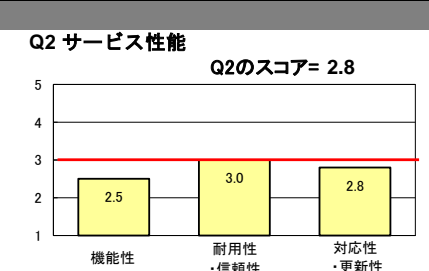
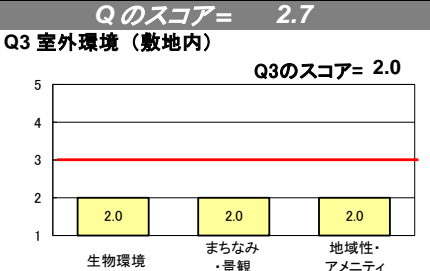
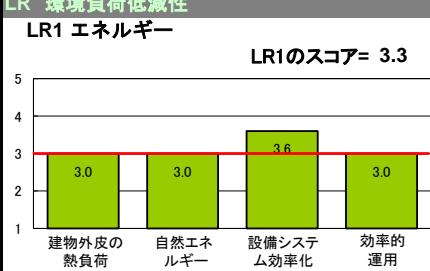
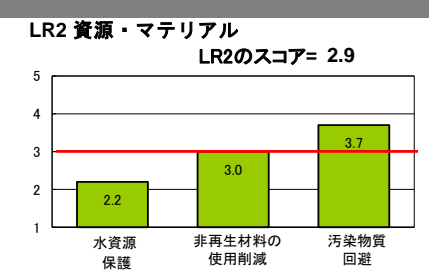
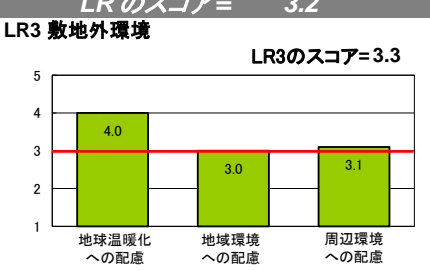
2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



ラベル表示: **有**

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.0 
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3 

3 設計上の配慮事項

総合	その他
内装材にはF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、各住戸の開閉部については高い遮音性を有し、快適に過ごせる室内環境を目指した。	特になし。
Q1 室内環境 室内にはF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用することで室内環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内にできるだけ緑地を設けることで温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー 複層ガラスを採用し、エネルギー効率化の向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 見通しの悪い車両出入口には、カーブミラーを設置し、交通渋滞が起こらない様、計画している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.0
配慮事項	リサイクル材を採用することでCO2削減に配慮している。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内に出来る限り緑地を設けることで温熱環境の向上に配慮している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.6
配慮事項	複層ガラスを採用し設備システムの効率化を図っている。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	等級3 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm]	-	
	建物全体[BEI][BEIm]	0.94	住宅部分[BEI]	0.94	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量					

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 44 ） m <input type="checkbox"/> 地上部（ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他（ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	集合住宅
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 57.0 ） m ²
エ 概算年間熱利用量	（ 124,089 ） MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（例：設備用基礎の設置） （ ）
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input checked="" type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ）	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	（ ） m ²
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）
備考	